

# 三重県

定数： 4 名

立候補者数： 4 名



氏名 南出 光章  
氏名ふりがな みなみで みつあき  
都道府県士会 三重県  
年齢 58  
勤務先名称 しおりの里デイケアセンター

### 日本理学療法協会活動歴

平成24年～平成25年	日本理学療法士協会	政治参加特別委員会委員
平成24年～現在	日本理学療法士協会	代議員
平成30年	第34回東海北陸理学療法学会	副大会長
平成31年～令和2年	日本理学療法士協会	グランドデザイン検討委員
令和3年～令和4年	日本理学療法士協会	グランドデザイン作業部会部会員

### 都道府県理学療法士（協）会活動歴

平成13年～現在	三重県理学療法士会	理事
平成21年～30年		副会長（事務局長）
平成31年～		会長
平成20年	三重県理学療法士学会	準備委員長
平成21年	三重県理学療法士会30周年事業	準備委員長
平成21年～31年	東海北陸ブロック理学療法士連絡協議会	監事
平成31年～	東海北陸ブロック理学療法士連絡協議会	理事
令和5年～	東海北陸ブロック理学療法士連絡協議会	代表理事
平成24年	第28回東海北陸理学療法学会	準備委員長

### 学会連合及び同連合会員団体活動歴

### 立候補の趣旨

三重県理学療法士会の理事として平成13年から携わってきました。その間、士会員に対しての学術知識向上を図り、また三重県理学療法士学会の準備委員長、第24回東海北陸理学療法学会の準備委員長として士会活動に携わってきました。また任意団体であった三重県理学療法士会の一般社団法人化を推進しました。平成31年4月からは会長となり、地域からも必要な理学療法士会と言われるよう人材育成も含め、さらに進めたいと考えます。地域包括ケアへのかかわり、介護予防分野へのかかわり、またスポーツ分野でのかかわりなど活動の場を広げていきたいと考えます。また今後も協会の組織力強化は必要であり、行政や他団体また政治の世界へも物の言える団体へと進め、理学療法士の地位向上・職域の拡大の観点から、訪問リハビリテーションの確立、予防分野に対しての理学療法から予防理学療法への参画、産業理学療法、スポーツ理学療法など協会事業を進めていきたいと考えます。



氏名 伊藤 卓也  
氏名ふりがな いたう たくや  
都道府県士会 三重県  
年齢 46  
勤務先名称 鈴鹿医療科学大学

### 日本理学療法協会活動歴

2016年～現在	代議員
2017年～2018年	診療報酬・介護報酬改定に関する有識者会議 委員
2019年～2020年	認定・専門理学療法士制度構築委員会 委員
2021年～2024年	理学療法士労働環境委員会 委員
2023年～2024年	士会支援事業運営部会 部会員

### 都道府県理学療法士（協）会活動歴

2008年～2014年	学術局学会運営部長
2014年～2019年	社会局地域包括ケアシステム推進部長
2015年～現在	理事
2019年～現在	副会長・事務局長
2020年	第31回三重県理学療法学会 学会長

### 学会連合及び同連合会員団体活動歴

2025年～現在	一般社団法人日本小児理学療法学会 評議員
2025年～現在	一般社団法人日本循環器理学療法学会 評議員
2025年～現在	一般社団法人日本地域理学療法学会 評議員
2025年～現在	一般社団法人日本糖尿病理学療法学会 評議員
2025年～現在	一般社団法人日本予防理学療法学会 評議員

### 立候補の趣旨

三重県理学療法士会では、これまで学術局、社会局、学会の準備委員長や学会長を務め、ダイハツとの共同事業、医療介護総合確保基金における事業などを協会と連携しながら取り組んできました。このような事業は協会との連携がなければ、成功させることはできなかつたと感じています。それぞれの地域が抱える課題により、都道府県士会やその会員に求められる役割は変化してきています。今後はさらに協会と都道府県士会の連携体制が重要になると考えます。このような体制を構築しながら、地域共生社会に向けて、管理者人材育成、予防分野、小児分野、スポーツ（障がい者含む）分野、在宅分野などに積極的に取り組んでいきたいと考えています。



氏名 山下 佳孝  
氏名ふりがな やました よしたか  
都道府県士会 三重県  
年齢 49  
勤務先名称 村瀬病院

### 日本理学療法協会活動歴

令和2年～現在 日本理学療法士協会 代議員  
令和7年1月～令和8年6月 登録理学療法士制度検討部会 部会員

### 都道府県理学療法士（協）会活動歴

平成20年 三重県理学療法士会 学術局教育部員  
平成21年～令和4年 三重県理学療法士会 学術局教育部長  
平成27年～現在 三重県理学療法士会 理事  
令和5年～現在 三重県理学療法士会 学術局長

### 学会連合及び同連合会員団体活動歴

### 立候補の趣旨

日本理学療法士協会代議員に立候補いたしました、山下佳孝と申します。  
これまで三重県理学療法士会において、生涯学習制度を中心とした学術活動に携わるとともに、令和2年度からは日本理学療法士協会代議員としても活動の機会をいただいております。  
私たち理学療法士を取り巻く職場や学びの環境は大きく姿を変えつつあります。また、国民のニーズ、そして私たち理学療法士自身のニーズは、多様化しながら刻一刻と変化しています。  
その中で、理学療法士が果たすべき役割や責任は何か、会員の皆さま一人ひとりの声をしっかりと反映させ、日本理学療法士協会と共に考え、より良い形へと育てていきたいと思っています。  
そのために、日本理学療法士協会代議員としての活動をこれからも継続させていただきたいと考えております。  
どうぞよろしくお願い申し上げます。



氏名 平田 雅人  
氏名ふりがな ひらた まさと  
都道府県士会 三重県  
年齢 67  
勤務先名称 山中胃腸科病院

### 日本理学療法協会活動歴

### 都道府県理学療法士（協）会活動歴

平成3～6年度 選挙管理委員長  
平成5～6年度 理事 渉外福祉部 老人福祉部長  
平成6年 第8回東海理学療法学会 準備委員  
平成7～10年度 理事 社会局 保健福祉部長  
平成8年 第14回東海北陸理学療法士学会 準備委員  
平成15～25年度 社会局 厚生部長

### 学会連合及び同連合会員団体活動歴

### 立候補の趣旨

少子高齢化が進む中で、本会としてもいかに理学療法士として今後の保健・福祉に貢献していくかが重要である。  
自身、理学療法士会に於いて、主に高齢者に対する保健・福祉部門の理事、部長を歴任し、任務にあたってきた。  
個人的には介護保険以前の、老人保健法に基づく機能訓練事業の時期から在宅支援に携わってきた。  
実務のためとスキルアップを兼ねて、地域理学療法認定理学療法士や、社会福祉士、介護支援専門員、福祉住環境コーディネーター資格を取得して行使に努めてきた。  
日頃は病院にて外来・入院・訪問リハビリ業務を行いつつ、各ケースに対して、心身機能に留まらずACFにある活動・参加・環境因子も包含したトータルなりハビリを心掛けている。  
今後、協会の代議員として、医療と介護の分野を更にリンクさせること等、上記述べた分野を含めて理学療法士としての貢献に尽力していきたい決意である。